

広島国際大学 講演会

演題：加水分解酵素と金属の触媒集積型動的光学分割

講師：赤井周司 教授

大阪大学大学院薬学研究科

日時：2017 年 5 月 12 日（金曜日）16:20－17:50

場所：広島国際大学薬学部 6 号館 6304 教室

要約：

リパーゼに代表される加水分解酵素を用いる速度論的光学分割は、ラセミ体を両鏡像体に分離する方法として広く活用されてきた。しかし、各鏡像体の収率は最大 50%である。我々は、リパーゼとラセミ化金属触媒を併用することで、ラセミ体を一つの鏡像体に 100%収率で変換する動的光学分割法を開発した。この研究では、リパーゼとラセミ化金属触媒が一つのフラスコ内で共存できることが最も困難であった。種々検討の結果、内径 2~4 nm の細孔でできているメソポーラスシリカの細孔内表面にラセミ化金属を固定化した新規触媒 V-MPS を考案・作成し、この問題点を解決することが出来た。本講演では、V-MPS の開発経緯、動的光学分割法、および本法の実践的応用についてご紹介したい。

※ 「有機化学の進歩」の受講者は、必ず聴講してください。

※ 教員のご参加も歓迎です。

連絡先：広島国際大学薬学部
有機合成化学教室
池田 潔
(電話) 0823-73-8936